

先端クリエイティブ人材の育成に向けた 産学連携による戦略的な枠組み構築について

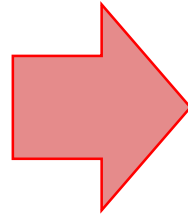
2017年5月22日

Hello, Future!



先端クリエイティブ人材とは？

先端クリエイティブ人材

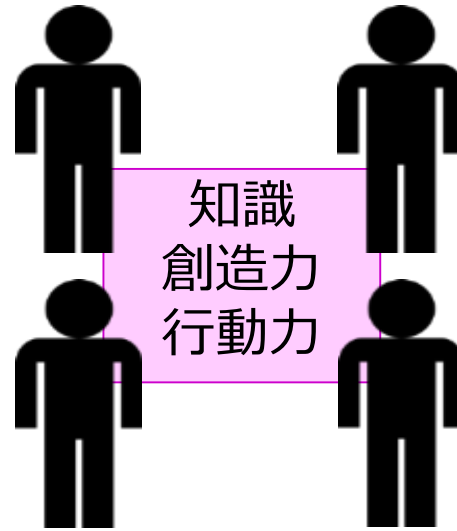


テクノロジーの飛躍的発達とそれに基づく新サービス・ビジネスモデルの生成・進化（第4次産業革命）を踏まえつつ、それらの有機的な結合・活用によって新たな価値を生み出すことのできる知識・創造力・行動力を備えた人材

「第4次産業革命」

- テクノロジーの発達（人工知能・ロボティクス・ブロックチェーン・ビッグデータ・IoT・・・）

- 上記テクノロジーを用いた新たなサービス・ビジネスモデルの進化（シェアリングエコノミー、モノのサービス化、個別産業×IT〈FinTech, AgriTech, HR Tech, EdTech…〉）



新たな価値を
創出

目的・背景：社会ニーズに対応できる人材の戦略的育成

「第4次産業革命」という劇的な変化の下で、それに対応しつつ新たな価値を生み出す力を持った人材を戦略的に育成するため、新経済連盟において「産学連携人材育成ワーキンググループ」を設置。第1回を5月11日に開催。

【関連する政府の動向】

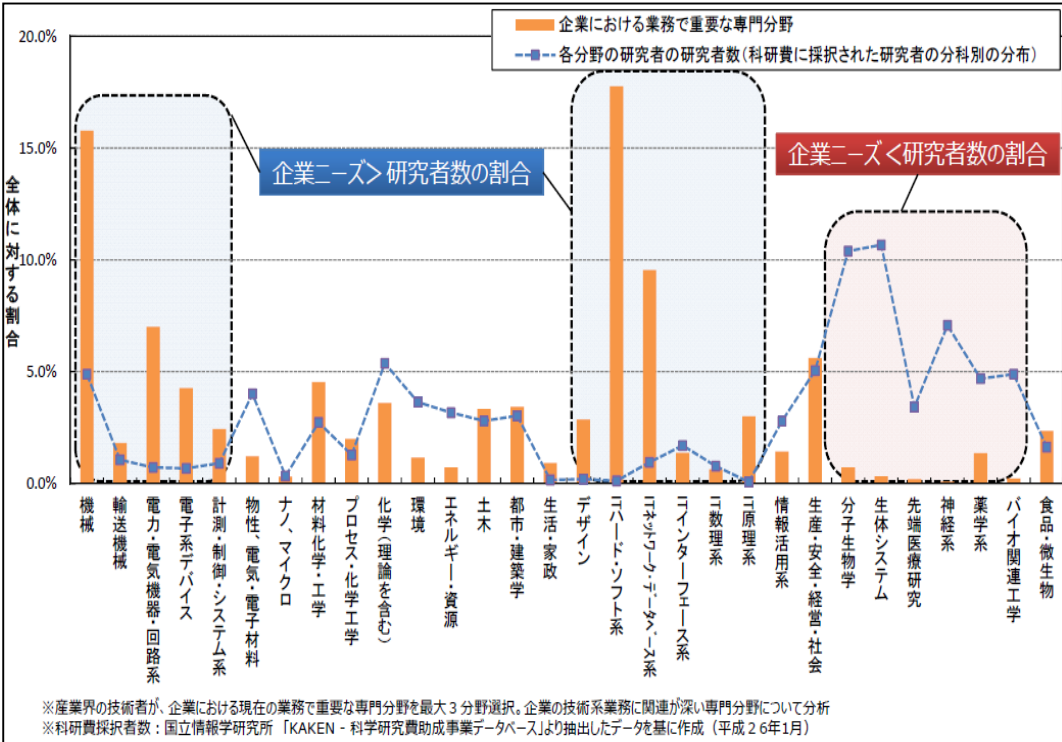
● 文部科学省、経済産業省「理工系人材育成に関する産学官行動計画」（2016年8月）

「産業界のニーズと高等教育のマッチング方策、専門教育の充実」、「産業界における博士人材の活躍の促進方策」、「理工系人材の裾野拡大、初等中等教育の充実」について、産業界で活躍する理工系人材を戦略的に育成する方策を提示。

● 文部科学省、経済産業省「人材需給ワーキンググループ取りまとめ」（2017年3月）

上記計画に基づき、将来、圧倒的に不足すると考えられているIT分野の人材需給マッチングを推進するため、国公立大学の学部長等により組織される大学協議体と産業界との意見交換を恒常的に実施する仕組みの構築等の具体的な方策を提示。

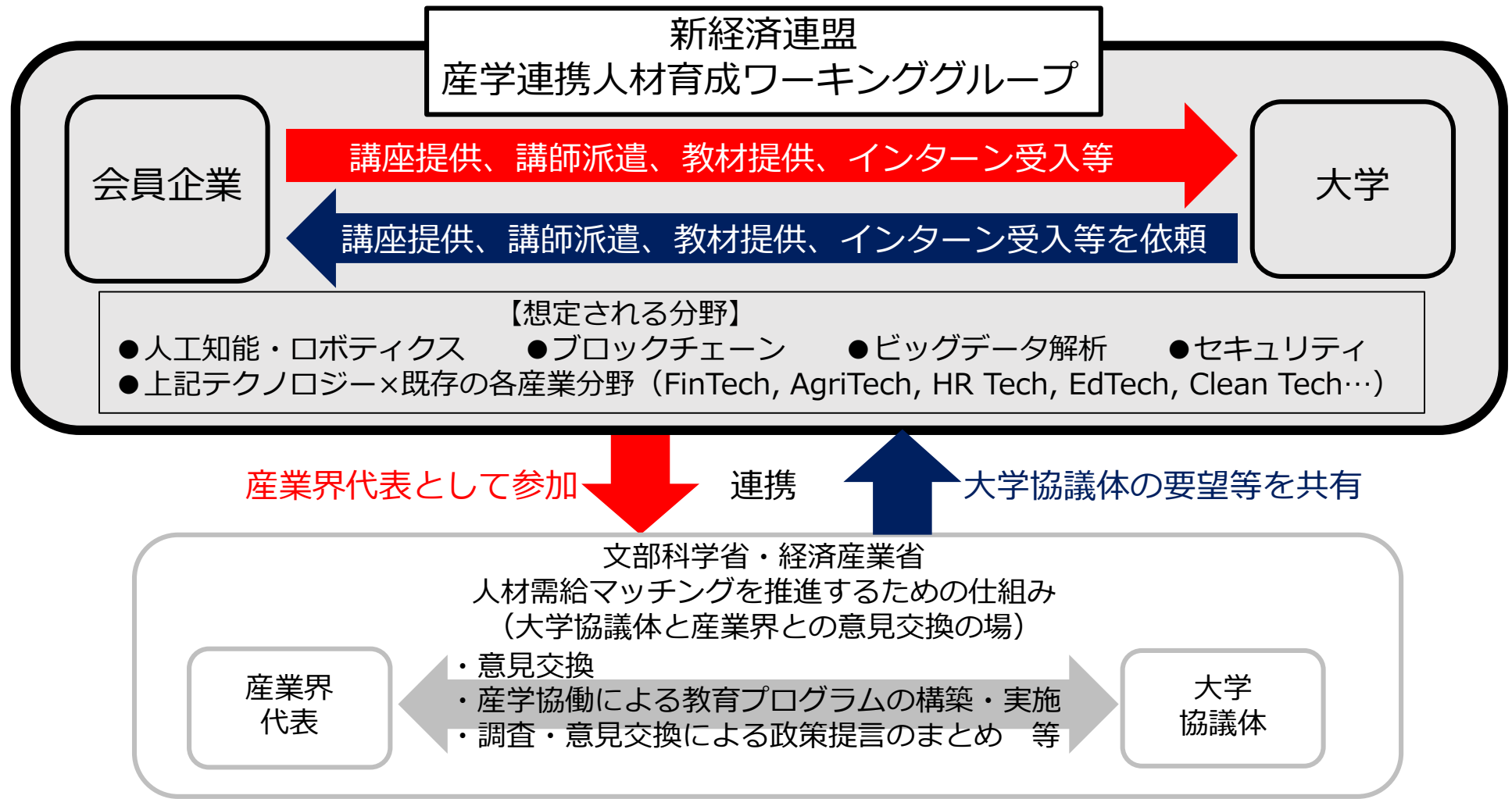
■ 企業ニーズと研究者の需給ギャップ



(出展：経済産業省調査結果を一部加工)

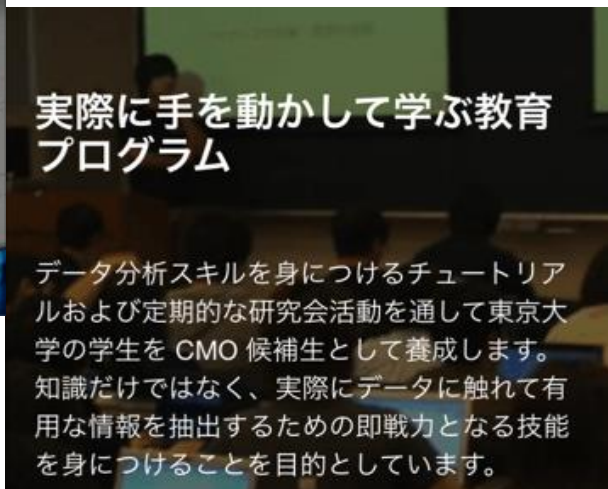
新経済連盟からの提案：産学連携人材育成ワーキンググループの概要

新経済連盟主導で、賛同する会員企業と大学のニーズを戦略的、組織的にマッチング。本取組と政府の取組と連携。



(参考) 新経済連盟会員企業における取組事例 (1)

トランスコスモス社:
東京大学「グローバル消費インテリジェンス寄附講座」への参画



<取組詳細>

トランスコスモス社がFacebook広告管理システムのデータ履歴を講座に提供。あわせて機械学習・人工知能技術などを用いて研究連携を実施。

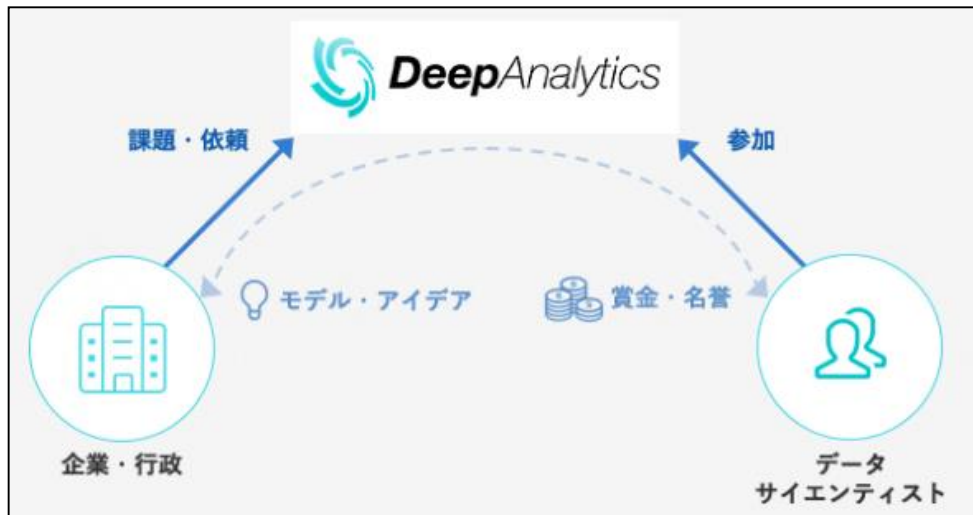
※出典：トランスコスモス社HP
東京大学グローバル消費インテリジェンス寄附講座HP

(参考) 新経済連盟会員企業における取組事例 (2)

オプトホールディング社：
データ分析コンテストサービス「Deep Analytics」を滋賀大学へ提供



※他に、東大・筑波大・早大との連携を進めている。



<取組詳細>

オプトホールディング社が「DeepAnalytics」サービス上に大学別のページを作成。学生は同サービス上のデータ分析コンテストに参加することでより実践的な環境で様々な分析手法やノウハウを学ぶことが可能に。

※出典：オプトホールディング社HP

大学協議体（教育機関）への要望

- 大学協議体においては、産業界代表との意見交換内容を個別大学に展開するなど、大学と企業の橋渡し機能を充実していただきたい。
- 教育機関においては、産業界に対して、どのような教育・学習ニーズがあるか明らかにするとともに（「〇〇についての最新の動向」「〇〇に関する生データの提供」等）、産学が連携した教育プログラムの構築に向けて積極的に御検討いただきたい。

【問合せ先】

一般財団法人 新経済連盟
産学連携人材育成ワーキンググループ担当（小木曾、蒔田）
電話 050-5835-0770
メールアドレス jun.makita@jane.or.jp